（十五日夕刊）

磐城新聞

休刊　大祭日　第一　第三日曜
定價　一部二錢郵税　一ケ月六十錢十五錢
廣告料　壹行六十錢指定廿錢堺
發行兼編輯人　蓮沼龍輔
福島縣平町田町十六番地
發行所　磐城新聞社
電話五六四番

最後的手段を警戒せよ

覺悟は一に選擧民の双肩に

◆石城郡下の政戰全く酣

石城郡は正に縣下有數の激げて政治家の腐敗のみを攻撃するは燈臺元暗しの感が戰地である、競爭の猛烈なだけ手段を撰ばざる底の運動が行はれ最後の五分間ともならば買收其の他いまわれるのである。自分の親族しい運動もないとは限らずから選擧に關して頼まれた相當警戒を拂はれてゐるが今選擧費用の内幕を見ると自己のふところから選擧費を全部出す者、政黨から

選擧費の半分を貰ふもの、全部政黨に出させるものとの三種に分つ事が出來る。その政黨から出す選擧費用は政黨の重鎮即ち親分達が金を持ち出すのであるから親分は僅かに自分の定つた收入では到底他人にまで多額な支出は出來ないから何所からか利權を漁らねばならなくなるそこで商人に算盤を彈いて算盤が合れば利權の賣買が双方で行はれる樣になる、この利權の賣買は何を表示するか即ち國民の心理を裏書してゐるに外ならぬ

即ち國民が政治家をして金を掛ねば政治家になれないやうにするからである。各有權者はこの黨に大なる自覺を要する。國民が政治家をして腐敗せしめ、然し國民自身の事は棚に上

始狀について一言したいのは、政治家の年始狀は情實のもの元旦で選擧人へ無意味なコンミッションで、消し印は十二月二十九日で元日の日附等は何やら解が判らぬ、選擧戰に對して國民の

賣し炭價の均整、取引の安定、販賣經費節約をはかること

右共同販賣會社は三社合同の前提をなすものと見られてゐるが會社は小規模とはいへ左の點において從來の協定あるひは合理化施設より一歩を進めたものとして注目せられてゐる即ち

一、販賣地域を分つ一方各社炭の區別を廢し同一の係員が三社炭の取扱をなすこと

一、採掘發送の毎月制限噸數を三社別に設け共同の炭さうをなす故手持貯炭は三社共常に同一比率を保ち送炭競爭を起さざること

一、委託販賣に非ず仕切價格を定め炭鑛會社の採算に基準を與ふること

而して常磐の有煙炭も此制度方針によつて進むとき必らず益する處多く可成與論中心となつてゐる將來實現されるものと觀側されてゐる

無煙の共同販賣

陣容全く整ふ

將來は有煙炭も實現か

常磐炭の甦生策

既報―無煙炭の不況對策として大倉鑛業大日本炭礦磐城炭鑛の三社間で無煙炭共同販賣會社（資本金十萬圓）設立の計畫があつたが十一日工業クラブで創立總會の運びに劃り社長―阿部吾市氏常務に岡部正樹、氏家正一、畠山藏六、三氏が就任することゝなつた從つて

十三日工業クラブに第一回の役員會を開き今後の營業方針につき協議の結果左の如く決定した

一、營業は常務三名の合議制とし販賣區域を五區に分ち各係を設いて分擔すること

一、三社の採掘無煙炭年額六十萬噸を一年間に販

幕末奇傑高山彦九郎

講談

（67）中西洋々作　布施長春畫

降魔の里（二）

「ねいつ！」

闇の人の聲と宙に怪しくきらめく白刃と、正に間髪をいれぬ素早さでした。

「待てつ！」

黄合かち飛んだ、彦九郎の聲は電光の素早さをもつて太刀の鞘を拂はせました

いや太刀の鞘を拂ったかと思ふと、かちり刃白せの音がして、あはや脅喝者の刃下に、露ときゆたかに思はれた老僕は、彦九郎の太刀に救はれたのです。

「うむ、邪魔をするかつ！」

闇の人はいらだつて、太刀を構え直すと、今度は彦九郎めがけて斬つてかゝりました。

「白痴奴つ！」

江戸滯在六ケ月、その間一刀流の名手塚本相之介に就て劍の道を學んだ彦九郎ですから辻斬追剝風情にしてやられるような彼ではありませんでした。

闇の人の刃をかはすと、打ちとなつて脅喝者の背に見舞はれました。

「あつ！」

闇の曲者は、もろく叫ぶやはり私共の召使でございました」

「たゝ左樣でございましてどこにもお怪我はございませぬか」

「はい、どこにも怪我はないようでございます」

かう答へて置いて

「爺や、この方が只今その方を救うて下されたのぢやあつくお禮申上げるがよい」

「はあ、左樣でございましたか」

やうやく腰をあげて、大地に兩手をつくと、民助は

「あつ！」と驚愕の叫びをあげました。

次第ではないでは「ないか」

市之じょうは、氣を落させまいと、力付けて

「高山樓」

側に立つた彦九郎を見上げました

「有りがたう厶りました。やはり私共の召使でございました」

「たゝ左樣でございましてどこにもお怪我はございませぬか」

「はい、どこにも怪我はないようでございます」

かう答へて置いて

「爺や、この方が只今その方を救うて下されたのぢやあつくお禮申上げるがよいぞ」

「高山樓」

側に立つた彦九郎を見上げました

「有りがたう厶りました。やはり私共の召使でございました」

「たゝ左樣でございましてどこにもお怪我はございませぬか」

「はい、どこにも怪我はないようでございます」

かう答へて置いて

「爺や、この方が只今その方を救うて下されたのぢやあつくお禮申上げるがよいぞ」

「はあ、左樣でございましたか」

やうやく腰をあげて、大地に兩手をつくと、民助は

「あつ！」と驚愕の叫びをあげました。

サロンすサロン

一九四〇人

これは高瀬の作品が作展に感銘である

千九百三十年の初頭、我らにこゝに地方新興藝術一分野としての新らしい運動を觀ることを出來たのは愉快なことである。彼が今こゝに街頭に進出して彼の藝術を社會に呼びかける機會を持つまでには幾度か障害が打ちかゝつて來たであらうことは想像に難くない

中略

繪畫展覽會は年に一度

又中央に現はれてゐる相當知名の畫家もないではなく、恐し彼の如く刻苦勉勵自己一獨りの道を築き上げて來た人としては高瀬は少し好遇されてもいゝ筈である。と云つたら僕に高瀬は超價してゐるのではなく彼が獨りで獨もの道を歩いて來た爲めの大なる缺點あらう。然し又そこに何らかの我らの藝術として認むべき長所もあるのであらうと思ふ。

現實、中央に於ける知名の展覽會　名を連ねるということは地方に獨り自己の道を開拓してゐる畫家には困難な什事である、それゝなのだ。平にも年何回か展覽會は催されるが此第に對する正しき批評を發表してゐる關心家はない。鄉土人としての一つの義務は鄉土藝術發展の爲めにも採らなければならぬ道ではあるまいか。例へば過去の詩壇に於いて逝げる山村暮鳥の如きも實に斯の道程を踏んで居る事を見ても分るのである。

又一人の理由として地方に作品批評家の無いといふことは地方に獨り自己のことはこれらの作家をして悲運に落らしむることになるのだ。平にも年何回か展覽會は催されるが此第に對する正しき批評を發表してゐる關心家はない。鄉土人としての一つの義務は鄉土藝術運動に關して何らかの批評を正しうすることゝ云ふことではあるまいか

兎に角僕は高瀬の旗持ちする譯ではないが鄉土人として藝術運動に關して此の點を力説したと思ふのである。

高瀬をしてより向上せしむるも下落せしむるのは彼への正しく批評からはじまる。

誰か彼の作品を一つ一つ強く批評する正しき批評家はないか。

彼のサロン・イワキに於ける作展は二月九日より一週間ある由

時事吟

小川鄉　吉間獨歩

小川地方言論戰皮切
一石に描く波紋や春の水
木村候補者の獅子吼
民衆に氣を吐く春の燭赤
し
鈴木縣議の應援振
春の夜や熱血燃ゆる數萬言
塗上所見
立看板に春寒の雨蕭條と
千篇一律の選擧郵便
松とれて張合のなき御慶かな
こゝ暫らく言論戰酣
大風の入れ亂れては唸るなり
敵も味方も大童
出代りは一夜も十夜の思ひなる
勝か敗か知るは神のみ
中原の鹿は誰が手に弓始め

明日の吉凶

旧十月二十日　新暦八月二日

平町に開く童話研究會

十六日聚樂館

東京日本童話研究會は今六日午後一時から平町聚樂館で童話大會を開催する。尚講師は同會主事若山治一氏である。

夜診

眼科

淋病　婦人病　皮膚病

専門部

腸胃

内科　十二指腸虫病

専門部

松村性病腸胃科醫院

（平南町電話一〇七番）

毛糸編物講習

生活改善は衣服から
消費節約も衣服から
發育盛りの小供には
毛糸編物が第一
夜間輕便文化器の
編物を無料講習致して
居ます、どうぞ
御遠慮なく御出で下さい

平町田町　蘇田女學校隣
ハシモトヤ糸店

サロンのバーには

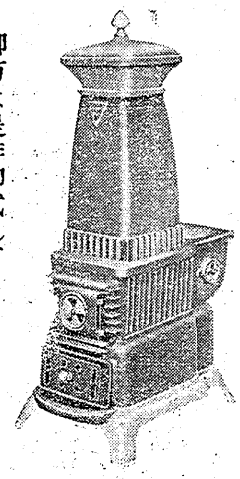
何時も生ビールがあります
毎日變つた佛蘭西料理の御献立をして御座います
ドーゾ御試食を……

田町松月堂隣り
美味で評判の　きもちよい　サロン
電話　三五二番
男、女給仕人數名募集

―示時正確に―
高橋時計工作所
平町土橋通り
十四五才のもの徒弟入用

滋養劑の覇王
マルケイ　ヴイタミンに限然
平五　山野邊藥局

暖爐界之征服者
ネンシヨウストーブ
經濟的連續完全燃燒
消費節約
火防衛生
優美堅牢
簡便を欲せらるゝ御方は是非御試し下さい
御請求次第カタログ進呈
久　釜屋商店
電話九一三九番



平町田町
高久病院
電話五一三番
醫學士高久忠
新潟醫學士赤羽濟
藥劑士佐竹菊雄
内科、小兒科、外科、花柳病科、耳鼻咽喉科、レントゲン科、

特賣!!
たひら正宗　福島縣清酒品評會一等賞受領
花春　同優等賞受領
醤油釀造元
鹽屋　山崎合名會社
電話一〇番

貸地廣告
平町郡役所より稅務署附近の新開地に五百餘坪の貸地があります、然かも完全な土盛でありますから流失其の他の憂ひ絶對になく商店、諸工場並に高級の住宅地として最もの適地を極ぐ安値にお貸しいたします
御希望の方は電話なり葉書なり戴けば社員が伺ひして親しく御相談に應じます
小名濱商事株式會社
平出張所
電話六〇三番　五四一番

民政黨の重鎮大平氏が 木村氏を援助

運動費の一部に寄附して 珍らしい選擧美談

石城郡の政戰は期日の切迫と共に血みどろの激戰を演じてゐるが與郡一致の推薦を受けて優勢を傳へられてゐた第三區石城政友の木村候補はその後佐總候補の出馬に依つて一大打擊を受けた上比佐、氏家兩候補の挾擊を受け地盤を蠶食される事甚だしく刻々不利の狀勢に陷つてゐるので山崎事務長以下必死の

努力を注

いで勢力の挽回に努めてゐるが比佐氏の小搖もしない鞏固な地盤と氏家派の巧妙な進出によつて頽勢挽回覺束か無い程の苦況に陷つてゐるので木村候補を取り卷く石城政友部會は中小幹部まで總動員の活動を續けてゐるが此の悲報頻々たる狀勢に木村先生を落すなと各方面から激勵同情の電報書狀等が事務所に投込まれさきには內鄉村の勞働者の如き淨財廿圓を選擧費の一部にもと寄贈を申出で或は車中から五圓を寄附申出る特に從來

政友派に

はかつて見られなかつた感激の幾場面を展開させてゐた折柄まかそろ郡內草野村尋常二年生中野一君(九)から激勵の一てだもので選擧美談として彼我共に大平氏の快擧を賞讃すると共に木村派の士氣を彌が上にも鼓舞してゐる

佐藤候補に 同情集る

更に依賴狀

第三區政友佐藤派では今回佐藤氏の出馬は氏の政治生活の最後であるとて盛んに同情を惜いてゐるが佐藤氏は最近の苦戰に演壇に立つて落涙して居るが氏は石城方部の有權者に對し更に政治生活の最後を全ふさせて呉れとの依賴狀を發送することになつた

佐藤、氏家氏は南へ 木村と比佐は北に猛進

斬り取り御免の戰法 突擊また突擊

石、双、相の第三區は今や全く蜂の巣を壞した樣な大騷亂の揉戰となつた即ち佐藤派の進擊により苦境に陷つた木村派では石城郡で奪はれるだけを相雙兩郡で補復すべく既に木村候補自ら双葉郡へ逆襲すると共に石城郡豐間村の漁船乘組員の不在投票が行はれた江名、赤井、小川、川前から

候補者月旦(一) 比佐昌平氏

一吾黨の政策を貫徹する必要上議會を解散したんだ。政黨政治は絕對多數を要するので、これを民意に問ふのが今回の選擧で私は此の意味から、吾黨の政策實現と地方の發展に貢獻すべく選擧に臨んでゐる」と比佐昌平氏は第三區の山野に斯く呼びかけてゐる。

◇

曾て大隈侯の寵愛を受けゞけ若い比佐氏も兎に角老侯張りである石城郡湯本町の出身で四十歳とあるからには油のゝりきつた働き盛りの年齡であら

通帳を拾ふ

正直な運送屋

平町大工町運搬業大和田新一(四〇)は去る十四日午後四中畧に屆け出た中預金額二百數十圓高久村遠藤勝男と記入してある貯金通帳を拾得したので直に

容易に齒が立たぬ 比佐氏の地盤

氏家派の進出に惱まされ 愈々最後の苦鬪

論陣を張ることになつた

三候補が 白兵戰

相双の猛襲

相双の猛襲に移つた第三區相馬、双葉方面の各運動員等は十三日の烈風にも怯けず奮鬪を續けてゐるが氏家候補は敵も味方も最高點で當選するものと見てゐる佐藤候補は自ら陣頭に立ち初日十三日の投票者は同村內不在投票の有權者百七十名中四十九名約三割で最近では特に同方部に盛んに運動が行はれたが十四日午後四時現在の不在投票の成績は左の如し

石城三方部 青年總會

廿三日平町で

平、內鄉、飯野、豐間、高久、夏井、神谷、好間、平と聯合青年團主事後藤隆之助氏の講演、續ひて各町村青年團から一名宛代表する辯士の演說會並びに青年思想の鼓舞する劍道大會を催し余興として活動映畫を催すなり會員數百名を有する石城聯合青年第三方部總會は來る二十三日午前九時から平町聚樂館に於て開催されるが尙當日の業事は大日本

棄權も至つて尠く 郡下の不在投票

江名、豐間、小名四倉で 氣を揉む候補者

總選擧投票の魁である石城郡豐間村の漁船乘組員の不在投票が行はれた江名、四倉方部にはこの不在投票の有權者を覘つて午後四時現在の不在投票の成績は左の如し

江名	一六四	(三〇〇)
小名濱	八	(二五〇)
四倉	七	(一九〇)
計	二六八	(八一〇)

上遠野火事

炭火の不始末

石城郡上遠野村蛭田熊太郎方鷄小屋から十三日午後十一時半ころ發火し折柄の烈風に煽られて隣家に延燒住家三棟を全燒鎭火した原因は鷄の雞養生器の炭火の不始末から損害三萬二千圓

景氣か、不景氣か 判斷を誤るな(一)

景氣か、不景氣か……。

いゝば誰しも景氣を好み、不景氣を呪詛するに違ひない然るにその呪ふべき不景氣が到來し、ます〳〵深刻になり、遂に吾れ〳〵の生活すら脅威する、至つたのは一體如何なる原因からであらう。之を卒直に言へば濱口內閣の失政がその大原因となければならぬ。つまり濱口內閣に不信任を表示すればよいのである。

濱口內閣の與黨である所の結果が今日の深刻極まりなき不景氣を招來したのである。

果して然らば今日の此の不景氣を驅逐する方途は自然にその呪ふべき不景氣が消滅する。不景氣の本尊が無くなるのである。

由來民政黨內閣は別名不景氣內閣と言はゝ位に彼等の傳統的經濟政策が常に不景氣を招來し國民を塗炭の苦に陷るのである。吾等は此の二十日の國民審判の日を目前に控へて、一擧に就いて如何なる方策を建てたか、糸價暴落に依る製糸家の打擊に對しては勿論それから影響される女工賃金不拂ひ問題、繭價の暴落等に對して濱口內閣は如何なる處置を取らんとするのか。未だに適切なる對策を樹てられてゐない。農產物價格の下落と同樣に他の諸物が廻はらないやうでは如何に安い繭でも買手がなければ拂の止むなきに陷り果然最近に至り遂に「女工賃金不拂事件」として重大なる社會問題化したのである。某政比佐候補のため同日午後一區大島、栗山兩候補應援の序に來る十七日來平し民一時四倉同五時湯本同七時平十八日午後六時好間小學校、內鄉の六箇所にて濱口、井上、安達三大臣のトーキーを公開し十九日は同候補の死活を左右する內鄉、磐崎、好間等に最後の苦戰らしい木村候補は石城郡の減票を見越し急に十四日から原の町方部に突擊戰を開始し相馬郡から千五百票を得んと策戰をめぐらしてゐるのでこゝ二、三日間には三候補の正面衝突が演ぜられるものと見られてゐる

石城三方部 青年總會

廿三日平町で

平、內鄉、飯野、豐間、高久、夏井、神谷、好間、平と

景氣か！不景氣か 判斷を誤るな

景氣內閣と言はゝ位に彼等の傳統的經濟政策が常に不景氣を招來し國民を塗炭の苦に陷るのである。吾等は此の二十日の國民審判の日を目前に控へて、一擧に就いて如何なる方策を建てたか、糸價暴落に依る製糸家の打擊に對しては勿論それから影響される女工賃金不拂ひ問題、繭價の暴落等に對して濱口內閣は如何なる處置を取らんとするのか。未だに適切なる對策を樹てられてゐない。農產物價格の下落と同樣に他の諸物が廻はらないやうでは如何に安い繭でも買手がなければ拂の止むなきに陷り果然最近に至り遂に「女工賃金不拂事件」として重大なる社會問題化したのである。某政比佐候補のため同日午後一區大島、栗山兩候補應援の序に來る十七日來平し民一時四倉同五時湯本同七時平十八日午後六時好間小學校、內鄉の六箇所にて濱口、井上、安達三大臣のトーキーを公開し十九日は同候補の死活を左右する內鄉、磐崎、好間等に最後の苦戰らしい木村候補は石城郡の減票を見越し急に十四日から原の町方部に突擊戰を開始し相馬郡から千五百票を得んと策戰をめぐらしてゐるのでこゝ二、三日間には三候補の正面衝突が演ぜられるものと見られてゐる

關東北卓球大會

出場チームは粒選り あす平町に開く

（括弧內は有權者數）

豐間 八九（一七〇）

平卓球協會主催の關東北卓球大會は明十六日午前九時から元公會堂に於て遠く東京、仙臺、福島其の他各地の大選手を網羅し華々しく開催する事となつた、因に出場選手メンバーを記せば左の如し

仙臺卓球倶樂部（仙臺市）

福島高商チーム 福島市

スター倶樂部 水戸市

いろは倶樂部 神谷村

みどり倶樂部 平町

鐵道倶樂部 平町

日立銅山側 茨城縣

東京鐵道側 東京市

常磐銀行側 平町

大平倶樂部 平町

好間小學校 好間村

平第一校側 平町

井上藏相 來平

比佐派の應援

大藏大臣井上準之助氏は第一區大島、栗山兩候補應援の序に來る十七日來平し民政比佐候補のため同日午後一時四倉同五時湯本同七時平十八日午後六時好間小學校、內鄉に於て應援演說をなすことゝなつたが人氣を呼んでゐる

郵便局員に 御注意

平局の萬全策

平便郵局では總選擧に當り從業員に對し「輕卒なる言語を弄し他人の疑惑を受くるやうなことなきこと」等の寸項にわたる注意を與へ萬全を期して居るが十四日午前現在にたける同局取扱手らしい

磐新塔

お役人の均子定規は郵便局にも傳染し十三日某派で切手別納便

別納の日が一分違ふとて受付けぬので憤慨した同派の某幹部早速電話で「今まで數回受付けておきながら今度の總選擧に限り違法だといふは明白な選擧干涉だ」と嚴談の結果、選擧干涉にオヂ氣を振るつたかそのまゝバス、同日の午後三時頃政友某派の遊說隊員を乘せた自動車が平町長橋附近で故障を起し停車してゐる處を通り合せた一警官、ちよいとした違法を見付けたので早速運轉手免狀を取上げ立去つたので大いに驚いた遊說部員アト追ひかけて「君は選擧干涉をするつもりなのか、しからば警察に同行の上告發する」とおどかしたので、さすがの警官も直ぐ恐れ入つたといふ、選擧干涉は役人に一番の苦

セイコー時計の値下斷行
景品は特賣
金解禁と…國產品の愛用…
景品總額金拾貳萬圓
景品內譯
一等 蓄音器壹台 三百六十本
二等 置時計壹ヶ 五百本
三等 置時計壹ヶ 一千本
四等 目覺時計壹ヶ 五千本
五等 特製ナイフ 全部へ
時計は信用ある精工舍製品を
平 三
特約店 大谷時計病院
電話十九番

推薦廣告
立憲政友會公認候補者
佐藤庄太郎君
政治生命の最後として敢然悲壯る決心を以て奮起した同氏を茲に推薦し極力氏の當選を期す
推薦者 谷口仁太郎
平町二丁目三十九番

立憲政友會公認
木村清治君
石城政友部會
責任者 平町三ノ三山田忠太郎

內藏外科 醫學博士 藤本順
整形外科
產婦人科 科院 長 木村寅次郎
平町新川町 電話一六四番
木村病院
內科、小兒科 入院應需
花柳病科
藤沼醫院
平町山屋町 電話平局五〇七番